

所 報

たまじむ

平成 22 年 10 月 26 日

第 2 号

東京都多摩教育事務所

〔東京都立川市錦町 6-3-1〕

Tel 042-524-7137

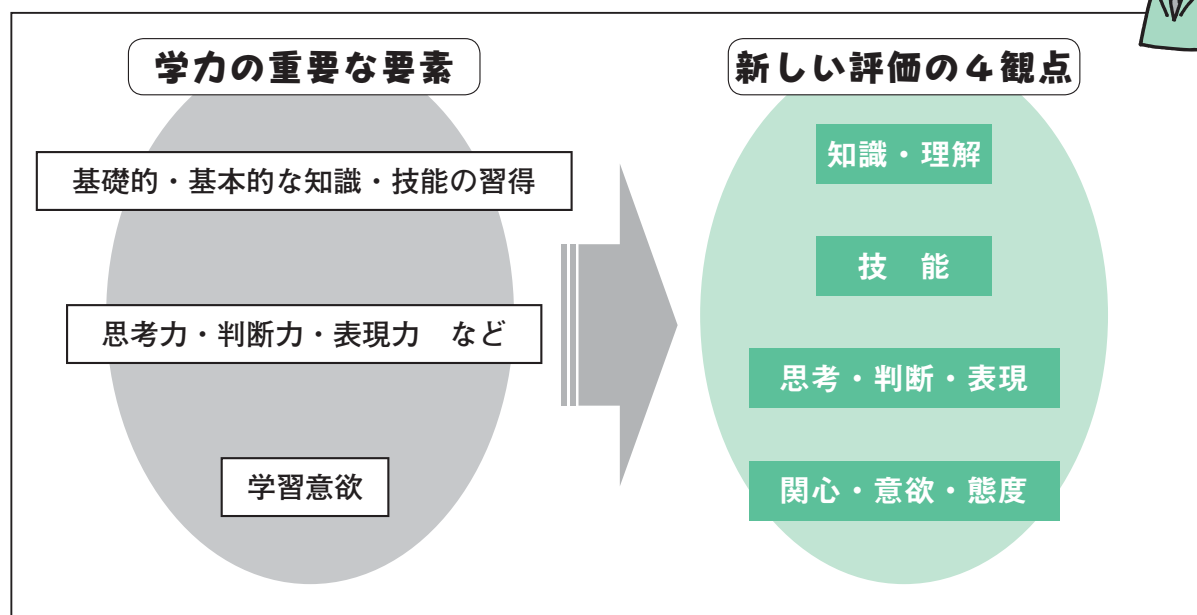
Fax 042-528-0985

新学習指導要領における指導と評価の一体化

学習評価を行うに当たっては、子供たち一人一人に学習指導要領の内容が確実に定着するよう、学習指導の改善につなげていくことが重要です。

新学習指導要領における評価の観点について、従来の評価の 4 観点（「関心・意欲・態度」「知識・理解」「思考・判断」「技能・表現」）の在り方を基本的に維持しつつ、学力の重要な要素を踏まえて、指導と評価の一体化をさらに進めるため、評価の観点が次のように整理されました。

学習評価を通じて、学習指導の在り方を見直すこと、個に応じた指導の充実を図ること、「学校における教育活動を組織として改善することなどが重要です。



特に「思考・判断・表現」の観点では、思考力・判断力・表現力等を育成するため、基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動を重視するとともに、各教科の内容等に即して思考・判断したことを、言語活動を中心に、その内容を表現する活動と一体的に評価していきます。

今回の所報では、「思考・判断・表現」の観点について取り上げ、特集します。

◇ ◇ 目 次 ◇ ◇

【巻頭言】新学習指導要領における指導と評価の一体化	1
【特集】「思考・判断・表現」の評価の概要と、そのポイントについて	2～3
【研修】学力の重要な要素「学習意欲」の向上を目指す教育活動の展開	4～5
【研修】未然防止の視点から取り組む生活指導	6～7
【情報】子供たちを取り巻くインターネット・携帯電話の現状	8

「思考・判断・表現」の評価の

「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」では、これまでの観点である「思考・判断」は「表現」を加判断へ移したということではなく、思考力・判断力・表現力を一体的に評価することを示したものです。一方「技のとらえ方や考え方を変え、これまで「技能・表現」で評価していた表現活動は、必要な情報をまとめる力など今回は、新しい評価の観点「思考・判断・表現」を適切に評価するためのポイントについて特集します。

知識・技能を活用して課題を解決すること等の

何を評価するのか

思考・判断・表現した過程と結果を評価します

- 基礎的・基本的な知識・技能や既習事項を活用している。
- 課題を多面的に考察している。
- 分析や解釈を通じて、規則性を見いだしている。



各教科等の内容に即して思考・判断・表現したことが、児童・生徒に身に付いているか等を評価します。

どのように読

言語活動を通

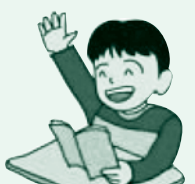
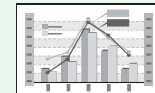
- 論述、発表や討論、観察・実験などの学習活動を積極的に取り入れて評価する。



言語活動を中心と
徒の作品等を一体的
作品のできばえや
「技能」として評価し

社会科の事例では 単元「これからの食料生産（5年生）」

問題を見いだし

学習過程	つかむ ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■▶調べる ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
評価の視点 	説明など 課題を多面的に考察し説明等をしているか 資料を見ると、日本の食料自給率は毎年減少してきているがどうしてだろう。  資料から、輸入される食べ物は、国内で収穫されない季節に多く輸入されることが分かりました。  児童・生徒がどういう考えを伝えているかの評価が大切です。 論述など 自ら わたしは、日本だと思います。すると、今のよう 外国から輸入するてもいろいろな 最後の結果過程も評価し

概要と、そのポイントについて

えて「思考・判断・表現」として示されました。これは、「技能・表現」で評価していた「表現」の内容を「思考・能・表現」の観点項目は、「思考・判断・表現」の「表現」との混同を避けるため「技能」となりました。「表現」として「技能」でとらえ評価していきます。

ために必要な思考力・判断力・表現力等の評価

評価するのか

して評価します

実験とレポートの作成といっ
入れ、学習指導の目標に照ら

とした表現に係る活動や児童・生
に評価します。
表現方法の分かりやすさなどは
ます。

いつ評価するのか

学習活動を通して意図的・計画的に評価します

- 単元等の中で、適切に設定した時期に評価する。
- 学習過程において、評価計画に基づき、意図的に設定した場面で評価する。



授業の終わりや単元のまとめの場面だけではなく、意図的・計画的に評価します。

、比較したり関連付けたりして調べ、考えたことを評価することが大切です。

■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ▶ まとめる ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ▶ 広げる・深める

討論・発表など

の分析や解釈をして論述しているか

本の食料の自給率を高めていくことが必要
なぜなら、外国から食料が輸入されなくな
な豊かな食生活は難しくなるからです。



ることは大切だと思います。なぜなら、一年中い
食べ物を食べることができるからです。

だけでなく、言語活動を中心に思考・判断の
ます。

互いの考えを伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりしながら討論しているか

これからは、安定して安全な食料を確保するため、日本の自給率を高めていくとともに、外国とのつながりを大切にしていかなければならないと考えます。



思考・判断がどう変容してきたかを評価することも重要です。

〈授業力向上シリーズ 2〉東京都多摩地区教育推進委員会 第 16 次計画（通算第 37 年次）中間報告

学力の重要な要素「学習意欲」

中央教育審議会答申では、「学習意欲」が学力の重要な要素の一つとして示されました。今年度の多摩推では、
として研究を進めています。児童・生徒の学習意欲を高めるために、「授業改善の在り方」、「学習習慣の確立」
検証を行っているところですが、今回の所報では、これまでの研究の中間報告をします。



児童・生徒の学習意欲を高める

学校で

見通しを立てたり、振り返り

児童・生徒が、学校の授業や家庭において、学習の見通しを立てる
るように工夫することが重要です。

単元では

見通し

学ぶ意義を認識させる

1単位時間の授業では

導 入

○ 学習のめあてを明確にもたせる

見通し

こうやって
学習を進める
んだ。最後ま
でやってみよ
う！

展 開

学ぶ内容、学ぶ方法が分かり、自分で
課題を解決できるよう指導を工夫する

まとめ

○ 学習を振り返り、自分の課題を明確に
させるとともに、次の授業へめあてをも
たせる

振り返り

振り返り

学習したことを次の学習に生かす

授業改善部会（中学校）

「学習の見通し」から改善を図る

単元や授業の冒頭に学習の見通しを生徒に理解さ
ることは重要です。本部会では、生徒が見通しをも
て授業に取り組むためには、学ぶ内容、学ぶ方法を理
解していることが必要であると考えました。そこで
授業の導入やまとめの段階で、生徒が学ぶ方法を習
得するための指導の工夫について検討しています。
→「学びシート」や「ガイダンスマニュアル」の工夫

授業改善部会（小学校）

「学習の振り返り」から改善を図る

単元や授業の最後に児童が当該単元及び授業で学
び取った内容を振り返る機会を設けることは重要です。
本部会では、学習過程の様々な場面で児童が学習を振
返る機会を設定するとともに、振り返りを生かした
指導の工夫について検討しています。
→児童の「学習感想」を生かした授業改善の工夫

授業改善の推進

分かる喜びを実感したり、学ぶ意識を認識したりできる授業の展開

学習意欲

の向上を目指す教育活動の展開

その「学習意欲」に焦点を当て、「学力の重要な要素『学習意欲』の向上を目指す教育活動の展開」を研究主題の視点から、授業改善小・中学校、学習習慣小・中学校の 4 つの部会を構成しました。現在、授業実践を通して

ために…



多摩推報告会にぜひ御参加ください！

日 時 平成23年2月10日（木）14時から

場 所 東京都多摩教育センターホール

児童・生徒の「学習意欲」を高めるための、授業改善の在り方、学習習慣を確立していくための具体的方策について、小・中学校の実践事例を通して提言していきます。

たりする学習活動の重視

り学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れ

家庭で

授業を振り返り、自分の課題をもたせる

授業と
家庭学習の
関連

家庭で課題に取り組み、授業への見通しをもたせる

学習習慣部会（小・中学校）

授業と家庭学習の関連を
明確にする

児童・生徒の学習習慣を確立するためには、授業と家庭学習の関連を図り、家庭での学習課題を適切に課することが重要です。また、家庭において学習の見通しを立てて予習したり学習した内容を振り返ったりする習慣を確立できるようにします。

授業内容との関連を図りながら、家庭における学習課題を継続して課すとともに、活用する場を適切に授業に位置付けることにより、児童・生徒に学習習慣が定着していくと考えています。

また、発達段階に応じた家庭学習の在り方があると考え、小・中学校9年間を見据えて研究を進めています。

→授業のねらいに迫る家庭での学習課題の工夫
継続的に家庭学習に取り組むための指導の工夫

次の向上

学習習慣の確立

継続して自主的・自発的に学習できる学習習慣の形成

〈健全育成シリーズ 2〉

未然防止の視点から

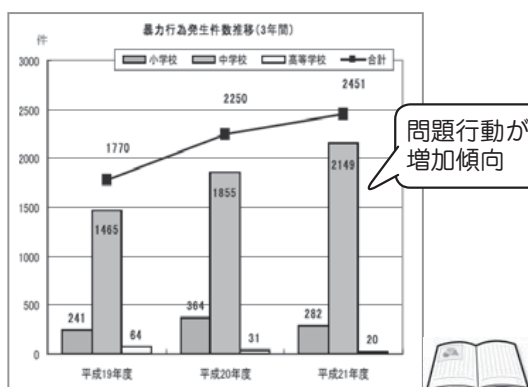
生活指導とは、一人一人の児童・生徒の人格を尊重し、個性の尊重を図りながら、社会的資質や行動力を高め、学習指導と並んで学校教育において重要な意義をもつものとしても位置付けられています。今回は、問題行

児童・生徒理解の充実
児童・生徒の様子を注意深く観察
教職員の積極的な働きかけ

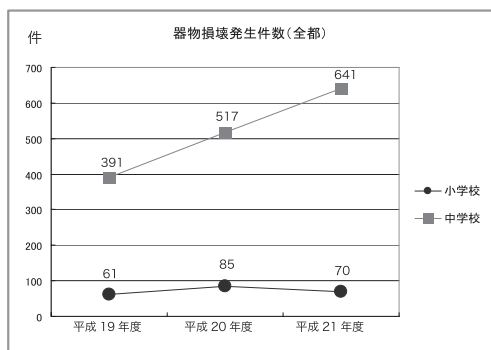
未然に

生活指導においては、児童・生徒が安心して学校生活を営むことができるよう、生活指導と早期発見の視点をもった指導の両面を充実させたい。

児童・生徒の状況



平成21年度の暴力行為の発生件数は2,451 件であり、平成19年度の約1.4倍〔681件増加〕となっている。



平成21年度に学校内で発生した器物損壊は、小学校では、平成20年度の85件から70件に減少しているものの、中学校では平成19年度からの2年間で391件から641件と約1.6倍に増加している。

「平成 21 年度における児童・生徒の問題行動等の実態について」より

一人一人の児童・生徒にとって

自己指導能力の育成

- だれもが自己存在感をもてる。
- 安心して自己開示できる。
- 自信をもって学習・活動できる。

学校・集団での学習指導

児童・生徒が自分で考えて決めて実行する
「自己決定の場」

一人一人の児童・生徒が自己実現を遂げる
「自己存在感」

学校・集団での学習指導

児童・生徒理解の徹底



早期発見に向けての取組

教員が児童・生徒の変化を見逃さず、理解を進め、指導する意識をもって、児童・生徒に働きかけることが問題行動につながります。

- ◆観 察 様々な時間や場所で観察を行う。複数の
- ◆面 接 個人面接や集団面接、教科担任、部活動を行う。
- ◆質問紙調査 様々なアンケート調査を行い、結果をま
- ◆情 報 交 換 教職員間、保護者との懇談、学校種間・の情報交換を行う。また、地域社会との

表情や態度、言葉遣い、持ち物、人間関係等の変化を見積極的に指導の手を差し伸べていくことが大切です。

取り組む生活指導

ることを目指して行われる教育活動です。また、学校の教育目標を達成するうえで重要な機能を果たすものであ
動を未然に防止することを重点に、指導に当たっての視点と組織的な生活指導の在り方について紹介します。

防止するための視点

送ることができるよう
ることが大切です。

成

・学級づくりの充実
への帰属意識の醸成
指導の改善 等

学級経営の基盤
「感情的な人間関係」

取組

導する必要があるとい
動を未然に防ぐことに

教員で観察を行う。
顧問などによる面接

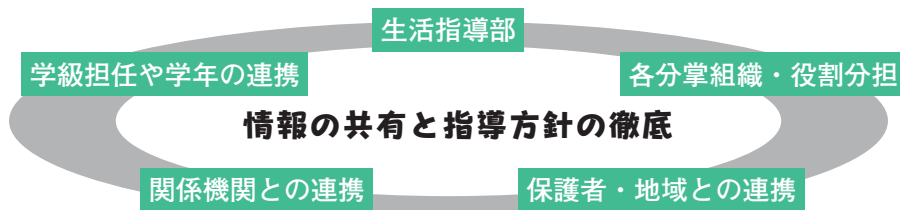
とめるとともに、以

学校間、関係諸機関
連携を大切にする。

見逃さず、学校全体で

組織的な生活指導の推進

生活指導を全校体制の取組として推進するためには、学校のあらゆる組織
が効果的に機能することが必要です。教職員はもとより、保護者や地域関係
者等にも十分に説明し、協力体制を築いていくことが大切です。



効果的な校内研修の実施

また、多様な問題に対応するためには、教員の研修を充実させることを通
じて組織としての力量の向上を図ることが求められます。



児童・生徒の実態を
もとに、生活指導に関
する校内研修を計画し
ています。効果的に進
めるにはどのようにし
たらよいですか？

全教員が
参加する研修

担当教員などに
よる研修

校外における
研修

組織的対応の効果
を上げるためには、
教職員一人一人が、
必要な資質を高める
ように研鑽を積むこ
とが大切です。

生徒指導提要（平成22年3月文部科学省）

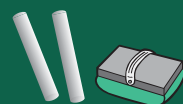
・小学校から高等学校までを通じた生徒指導に関する

「基本書」として活用

・「生徒指導提要」を活用した教員研修の充実、教員の資質向上

・各学校における組織的・体系的な生徒指導の取組の推進

あらゆる場面
での活用を！

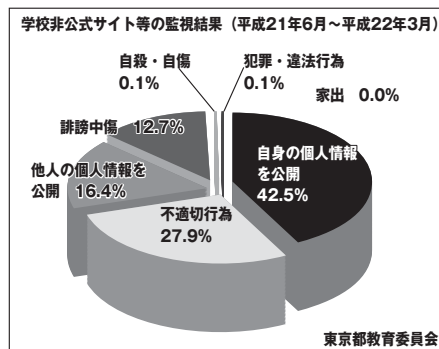


子供たちを取り巻く インターネット・携帯電話の現状

インターネット・携帯電話は、様々な情報を得ることができるなど大変便利なものですが、有害情報が含まれるサイトにも簡単にアクセスできてしまうことから、個人情報を書き込んでトラブルになる危険性があります。子供たちにインターネット・携帯電話など情報機器の「光」と「影」の部分についてしっかりとした認識をもたせ、子供たちが被害者にも加害者にもならないよう、現状を十分に理解することが大切です。

インターネット・携帯電話によるトラブル

青少年が安全に安心してインターネットを利用できるよう、フィルタリング機能を適切に活用し、子供たちが有害な情報を閲覧できないようにすることが大切です。しかし、ゲームサイトやプロフィールサイト等、フィルタリングでブロックできないサイトもあり、見知らぬ相手との情報のやり取りには注意が必要です。また、いわゆる「隠語」を使って、自分のメールアドレスや携帯電話番号を書き込むなど、見知らぬ相手と情報のやり取りを通じて、トラブルに巻き込まれるケースもあります。



情報のやり取りに潜む思わぬ落とし穴

ゲームサイト

新しいアイテムを交換できるから便利！

プロフィールサイト

自己紹介して友達を増やしたいな！

学校裏サイト

友達の情報を流して楽しもう！

トラブルに巻き込まれるケースも…

- ・悪口を書かれたことが原因でけんか等のトラブルに…
- ・メールで知り合った人と直接会い、犯罪に巻き込まれ…
- ・おもしろ半分で友人のプロフに悪口を書き込んで友達関係に亀裂が…

学校として取り組むべきポイント

- ① インターネットや携帯電話等の使用に関する家庭でのルールづくりに向けて支援する。
○保護者会や学校便りで、家庭での具体的ルールについて例示する。
- ② 情報教育における、個人情報の大切さの指導を充実させる。
○新学習指導要領に基づき、情報教育についての年間指導計画を作成し、情報モラル等について指導していく。
○セーフティ教室等で警察や関係機関と連携し、インターネット・携帯電話など情報機器の「光」と「影」の部分について児童・生徒や保護者と共に考える。
- ③ 道徳教育を中心とした他の人への思いやりの心の育成を充実させる。
○道徳の時間の充実を図るとともに、各教科等での道徳教育を計画的に実施する。
○道徳授業地区公開講座を活用し、他の人への思いやりについて児童・生徒や保護者と共に考える。

